

## 平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年4月6日

上場会社名 大黒天物産株式会社

上場取引所 東

コード番号 2791 URL <http://www.e-dkt.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 川田 知博

TEL 086-435-1100

四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成22年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	58,792	9.6	3,419	27.2	3,415	28.7	1,815	29.1
21年5月期第3四半期	53,631	—	2,688	—	2,654	—	1,405	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	129.57	129.56
21年5月期第3四半期	100.33	100.18

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	22,075	12,502	56.6	891.76
21年5月期	21,879	10,878	49.7	776.17

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 12,493百万円 21年5月期 10,872百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	—	—	14.00	14.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	4.8	3,750	4.6	3,720	4.8	1,900	5.4	135.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第3四半期	14,399,000株	21年5月期	14,396,600株
② 期末自己株式数	22年5月期第3四半期	388,940株	21年5月期	388,940株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年5月期第3四半期	14,009,213株	21年5月期第3四半期	14,010,628株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコ関連減税などの経済対策により景気の一部に回復の兆しが見られたものの、円高や雇用情勢の悪化などにより個人消費は一段と冷え込み、景気は依然として全般的に厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、雇用情勢の悪化による消費者の生活防衛意識の一段とした高まりや、値下げによる価格競争の強まりなど、経営環境は非常に厳しい状態が続いております。

このような経営環境の中、当社グループでは平成22年2月に新たな商圏の獲得として鳥取県境港市にディオ境港店を新規出店いたしました。また、「魅力ある店づくり」のための取り組みとして価格、品質、環境整備、売場、活気、接客の6項目を掲げ、全社員を挙げて実行してまいりました。

商品戦略としましては、上半期に引き続き、食品製造小売業（S.P.F）としてお客様に満足いただける商品の開発に取り組んでまいりました。販売戦略としましては、一昨年より実施しております購買頻度の高い商品約100品目以上を2割から5割値下げした「生活応援宣言セール」、さらに景気低迷の中「お客様の生活を豊かにしていきたい」というこの強い思いから、「総額2億円利益還元セール」を実施いたしました。管理面におきましては、管理コストの一層の見直しと作業効率の改善による経費の圧縮、「ウィークリーマネジメント」により数値管理の徹底を図ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は587億9千2百万円（前年同期比9.6%増）、経常利益は34億1千5百万円（前年同期比28.7%増）、四半期純利益は18億1千5百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億9千6百万円増加し、220億7千5百万円となりました。これは、商品及び製品が3億6千6百万円増加する一方、現金及び預金が7千万円、その他流動資産が1億7千9百万円減少したこと等により流動資産合計が1億3千4百万円増加したことと、その他有形固定資産が3億4百万円、差入保証金が4千1百万円増加する一方、建物及び構築物が減価償却により2億5千7百万円減少し、固定資産合計が6千1百万円増加したことによるものです。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億2千8百万円減少し、95億7千3百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4億6千8百万円、未払法人税等が4億8千1百万円、長期借入金が6億円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

また、純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ16億2千4百万円増加し、125億2百万円となりました。これは、当第3四半期連結累計期間の好調な業績を反映して利益剰余金が16億1千9百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて6.9ポイント上昇して56.6%となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月期通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに平成21年7月14日公表の業績予想に変更ありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

簡便な会計処理については重要性が乏しいため記載を省略しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,925,321	6,996,138
受取手形及び売掛金	6,417	3,148
商品及び製品	1,994,847	1,628,184
原材料及び貯蔵品	37,112	22,082
その他	1,396,666	1,575,960
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	10,360,361	10,225,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,510,044	5,767,352
土地	1,669,085	1,669,085
その他(純額)	720,747	415,850
有形固定資産合計	7,899,877	7,852,288
無形固定資産	53,518	60,573
投資その他の資産		
建設協力金	1,132,095	1,189,777
差入保証金	1,349,155	1,307,233
その他	1,280,818	1,244,149
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	3,762,057	3,741,146
固定資産合計	11,715,453	11,654,008
資産合計	22,075,814	21,879,517

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,549,694	5,018,169
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	685,263	1,166,739
賞与引当金	87,733	147,318
その他	1,497,148	1,330,292
流動負債合計	7,619,839	8,462,519
固定負債		
長期借入金	1,200,000	1,800,000
その他	753,273	738,708
固定負債合計	1,953,273	2,538,708
負債合計	9,573,113	11,001,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,548,089	1,547,813
資本剰余金	1,709,769	1,709,493
利益剰余金	9,545,220	7,926,015
自己株式	△311,590	△311,590
株主資本合計	12,491,488	10,871,731
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,165	647
少数株主持分	9,047	5,911
純資産合計	12,502,701	10,878,290
負債純資産合計	22,075,814	21,879,517

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)
売上高	53,631,645	58,792,787
売上原価	41,233,103	45,356,661
売上総利益	12,398,541	13,436,125
販売費及び一般管理費	9,710,138	10,016,541
営業利益	2,688,402	3,419,583
営業外収益		
受取利息	28,214	31,010
受取配当金	397	384
その他	16,730	20,638
営業外収益合計	45,342	52,033
営業外費用		
支払利息	58,447	46,792
保険解約損	12,265	—
その他	8,119	9,070
営業外費用合計	78,831	55,862
経常利益	2,654,913	3,415,754
特別利益		
貸倒引当金戻入額	42	—
特別利益合計	42	—
特別損失		
投資有価証券評価損	749	7,268
固定資産除却損	—	30
減損損失	7,501	—
特別損失合計	8,250	7,298
税金等調整前四半期純利益	2,646,704	3,408,455
法人税、住民税及び事業税	1,290,595	1,589,747
法人税等調整額	△50,093	260
法人税等合計	1,240,501	1,590,007
少数株主利益	467	3,136
四半期純利益	1,405,735	1,815,311

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,646,704	3,408,455
減価償却費	665,823	682,505
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37,879	△59,585
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	△0
受取利息及び受取配当金	△28,612	△31,395
支払利息	58,447	46,792
建設協力金の家賃相殺額	69,037	70,848
預り建設協力金の家賃相殺額	△12,616	△12,616
固定資産除売却損益 (△は益)	—	30
減損損失	7,501	—
売上債権の増減額 (△は増加)	8,209	△3,269
たな卸資産の増減額 (△は増加)	132,739	△381,692
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△34,285	112,417
仕入債務の増減額 (△は減少)	67,923	△468,475
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△148,542	△93,985
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	24,605	526
その他	24,152	18,758
小計	3,443,150	3,289,315
利息及び配当金の受取額	8,687	21,080
利息の支払額	△58,937	△47,726
法人税等の支払額	△1,524,369	△2,070,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,868,531	1,191,975
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,500,053	△6,115,138
定期預金の払戻による収入	—	4,633,540
有形固定資産の取得による支出	△803,208	△351,558
有形固定資産の売却による収入	3,212	2,234
無形固定資産の取得による支出	△6,666	△1,188
投資有価証券の取得による支出	—	△338
差入保証金の差入による支出	△71,405	△46,976
差入保証金の回収による収入	12,776	5,054
建設協力金の支払による支出	△44,314	—
短期貸付けによる支出	△192,000	—
短期貸付金の回収による収入	192,000	—
その他	△15,210	△10,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,424,870	△1,885,003

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△639,000	△600,000
リース債務の返済による支出	△17,176	△64,083
株式の発行による収入	—	552
自己株式の取得による支出	△110,921	—
配当金の支払額	△169,086	△195,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936,185	△859,386
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,492,524	△1,552,414
現金及び現金同等物の期首残高	4,886,686	5,216,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,394,162	3,664,281



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

小売事業の売上高の合計、営業利益の金額の合計に占める割合が、いずれも90%を超えており、また、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントはありませんので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

本邦以外の国又は地域に存在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。